

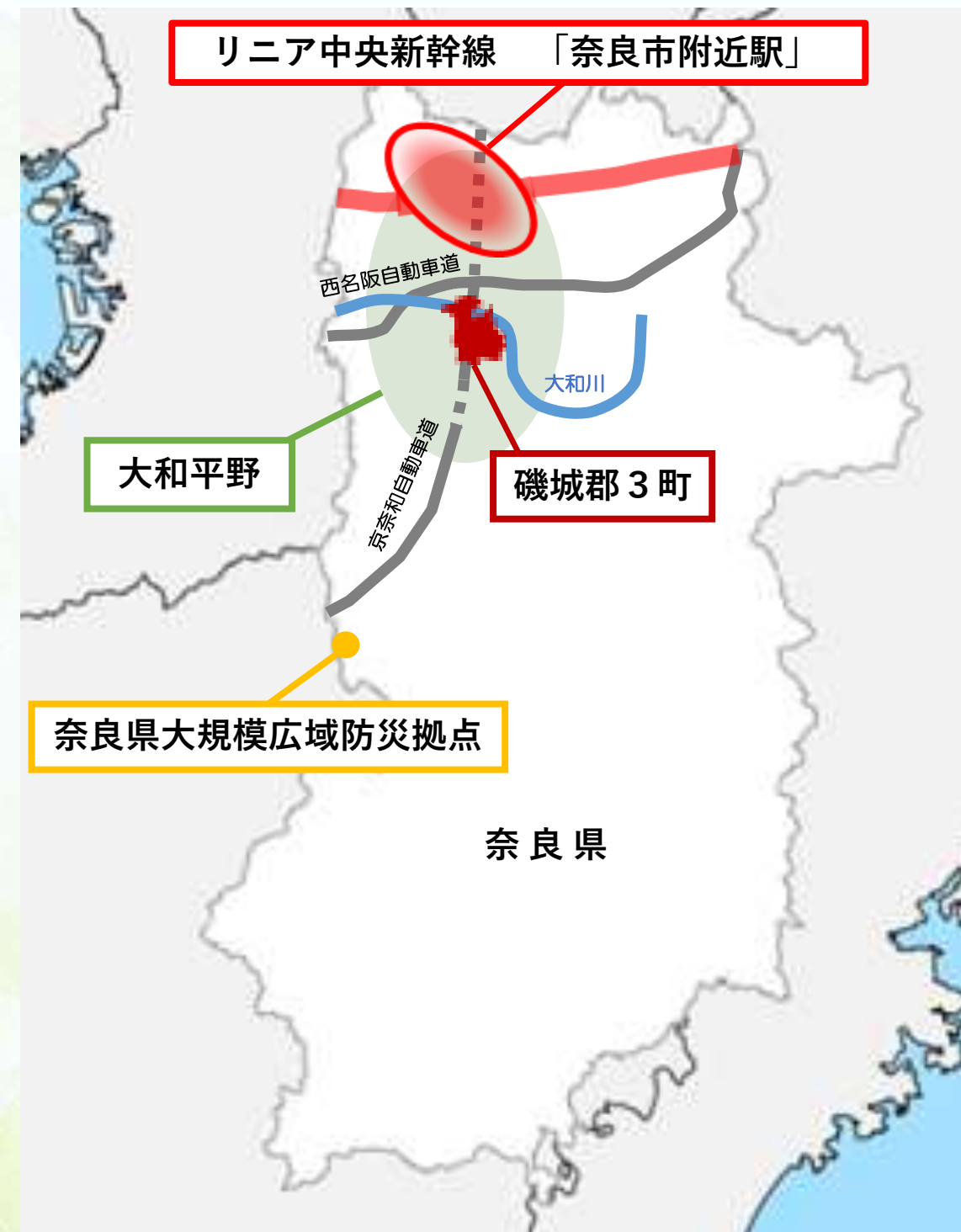
目 次

大和平野中央田園都市構想とは	2
I 大和平野は奈良県発展の中心地、震源地になりうる	3
II 大和平野中央（磯城郡3町）での田園都市づくりを核にして 県勢発展のきっかけをつくる	5
III 県勢発展の原動力となりうるインフラ整備の波が大和平野中央周辺 に押し寄せている	17
IV 県勢発展の起爆剤となる「デジタル田園都市」を大和平野中央に 建設する	29
1. 県立工科大学（仮称）の設置	32
2. 就学前教育 ～就学前児童のころと身体のはぐくみ～	35
3. 地域のリカレント教育	42
4. スタートアップヴィレッジの構築	43
5. 大和平野中央地域雇用戦略の実行	47
6. 新しいスポーツ施設の整備とウェルネスタウンの建設	53
7. 医療、地域包括ケア、健康増進、社会福祉の一体的推進	61
8. 地域内移動の円滑化	67
9. 安全・安心まちづくり	73
10. 農業の省力化、効率化、高度化	80
11. エネルギー脱炭素への挑戦（大和平野中央シュタットベルケ構想）	82
12. 大和平野中央デジタル化の推進	84
13. デジタル化による行政運営効率化	92
14. 土地の適正な管理、合理的な利用、より効果的な利用により、田園都市を建設	99
15. 周辺県施設の整備運営との連携	103
16. 官民連携した推進組織の構築（P P P Pの実行）	109

大和平野中央田園都市構想とは

- I. 大和平野は奈良県発展の中心地、震源地になりうる
- II. 大和平野中央（磯城郡3町）での田園都市づくりを核にして県勢発展のきっかけをつくる
- III. 県勢発展の原動力となりうるインフラ整備の波が大和平野中央周辺に押し寄せている
- IV. 県勢発展の起爆剤となる「デジタル田園都市」を大和平野中央に建設する
- V. 地元や民間の人たちと力を合わせて未来に輝く大和平野中央を創生する

I 大和平野は奈良県発展の中心地、震源地になりうる



- ◆ 大和平野地域には、**県総人口の約 9 割**が居住（約 1 2 0 万人）
- ◆ 県内唯一の**平地**（約 3 0 0 km² : 全県土の 1 / 1 2）
- ◆ 県内随一の河川（**大和川**）が中心を流れる
- ◆ **鉄道**（J R 西日本、近鉄）、**道路**（京奈和・西名阪自動車道、大和中央道、中和幹線）が整備されている
- ◆ 新しい**インフラ整備の波**（リニア中央新幹線、大規模広域防災拠点、京奈和自動車道、大和川特定都市河川）が押し寄せてきている

大和平野中央田園都市構想では何を目標にするのか

1. 多様で良質な「**人材育成と雇用の場の創出**」により
若者の県外流出を抑止する
2. デジタル応用技術教育により、高度な人材を育て、
県内産業の競争力を強化する
3. 子ども、若者、女性、高齢者、障害者の健康を守り、
健全で希望の持てる生涯を実現する (**Well-being**)
4. 農業とまちづくりを調和・共生・発展させて、
比類ない「**デジタル田園都市**」を建設する
5. 地元からの発想により、民間の人たちと力を合わせて、
輝かしい大和平野中央を創生する

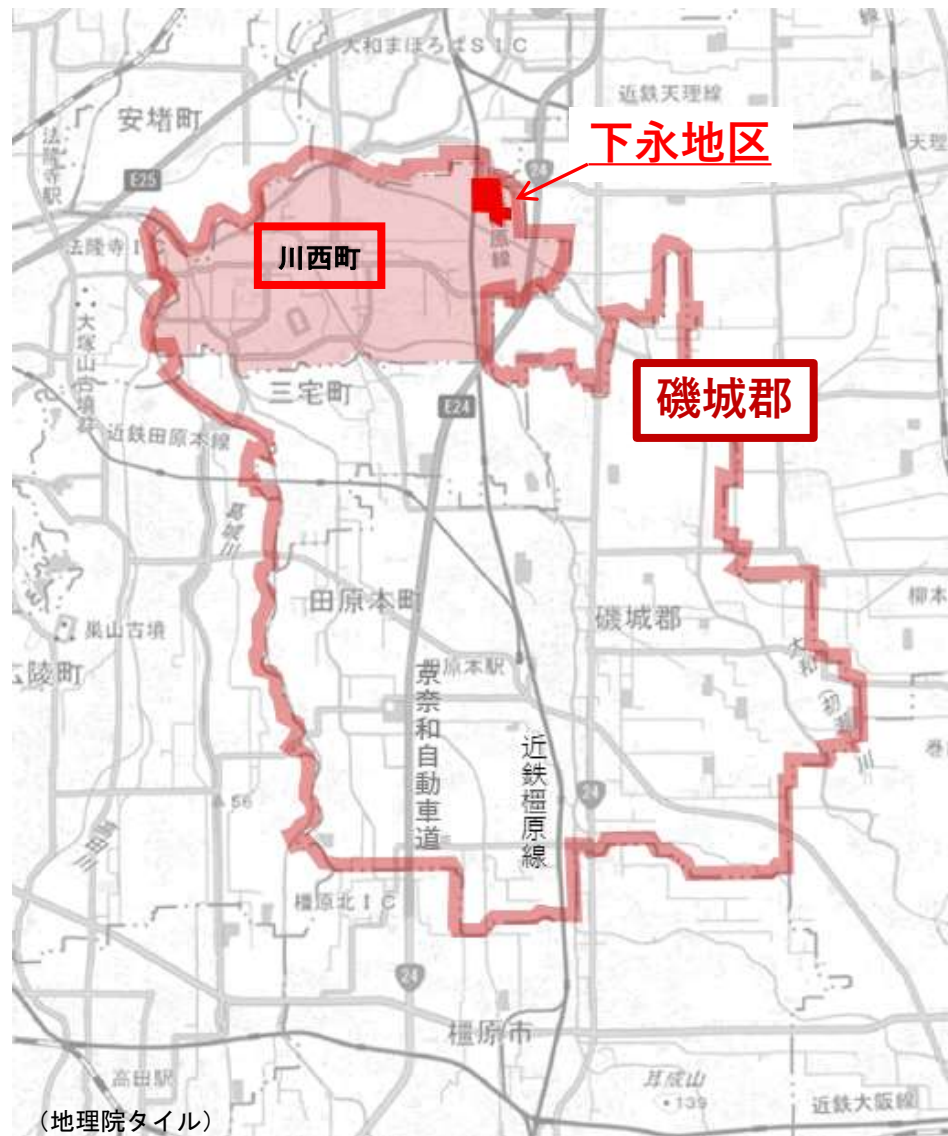
Ⅱ 大和平野中央（磯城郡3町）での田園都市づくりを核にして 県勢発展のきっかけをつくる

◇ まず、どこに、何をつくるのか

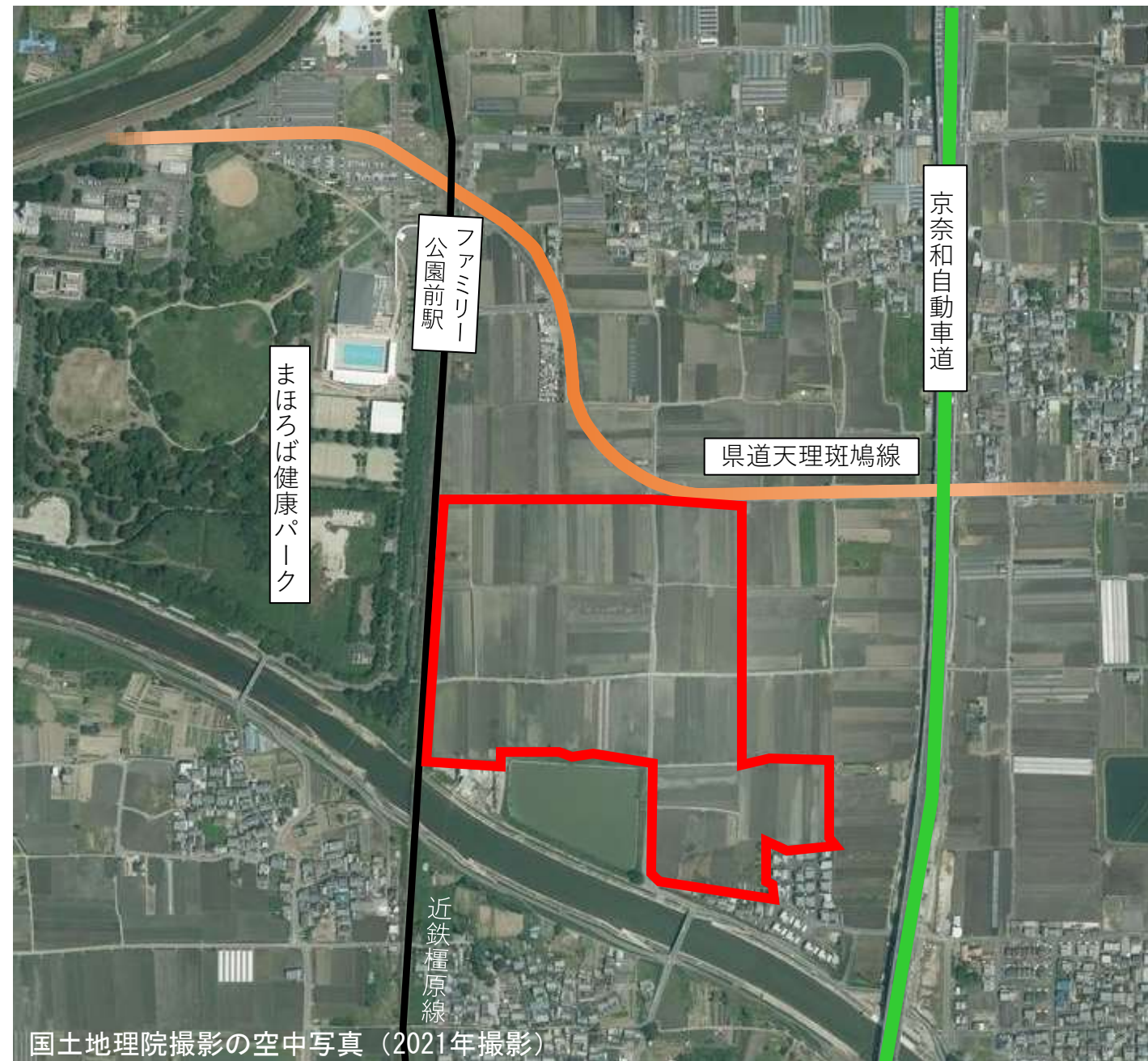
対象地区	テーマ
川西町 下永地区	<u>スポーツと食と農が融合するウェルネスタウン</u> スポーツと食でサポートする「ウェルネス・ステーション」
三宅町 石見地区	<u>知的交流が広がる県立工科大学(仮称)とスタートアップヴィレッジ</u> 科学・工学・ものづくりの交流拠点「サイエンス・ステーション」
田原本町 阪手北・西井上地区	<u>スタジアムを核としたウェルネスタウン</u> 地域住民の健康増進施設「ウェルネス・ステーション」

川西町 下永地区

磯城郡川西町下永地区



プロジェクト用地（川西町 下永地区：15 ha）





スポーツと食と農が融合するウェルネスタウン

スポーツゾーン

- 全国大会等の大規模大会（国体など）が開催可能なテニスコート
（※屋外16面、屋内4面、センターコート1面。車椅子テニスも可能なハードコート。）
 - ・ 関西国際空港から約1時間という立地とコート数を活かし、国際大会の誘致や開催も視野に入れた設備
 - ・ センターコートには、迫力あるプレーを間近で観覧できる観客席を設置
 - ・ カフェやショップ、シャワールーム等を併設したお洒落で快適なクラブハウスを設置
 - ・ BMX、パデルなどのアーバンスポーツが可能なエリアを併設
- テニスのクラブハウス、農園レストラン等を併設した、健康食品や健康グッズの販売や、健康相談ができる「ウェルネス・ステーション」



ITC韮テニスセンターHPより抜粋 イメージ画像

観客席のあるセンターコート



イメージ画像

新青森県総合運動公園より

大規模大会が開催可能な
多面のテニスコート



イメージ画像

Panasonic株式会社HPより抜粋

クラブハウス・農園レストランを併設した
ウェルネス・ステーション



イメージ画像

BMX（アーバンスポーツ） 8

農業ゾーン

- デジタル技術等を活用した、**先進的農業の実践、研修施設**
 - ・ 先進的な農業技術を有した、またはチャレンジする生産者・企業等を誘致
 - ・ 県内生産者の模範となる高収益な農業経営を展開
 - ・ 新規就農希望者を受け入れ、実践的な研修を実施
- データ駆動型農業や、環境モニタリングシステム等を活用した**いちご等の先進的農業の研究施設**
 - ・ 10～20年後を見据えた先進的な施設園芸の研究
 - ・ 優良種苗（県育成品種等）の効率的な増殖の研究・実証
 - ・ 拠点整備予定の県立工科大学（仮称）をはじめとする、大学や高専、農業高校等と共同研究
- 収穫した野菜や果物をその場で食することができる**園芸体験施設**（観光農園等）
 - ・ 家族で野菜や果物の収穫などを楽しめる施設
 - ・ 飲食施設との連携



家族連れで収穫が楽しめる観光農園



データ駆動型農業



イメージ画像
四万十とまと株式会社HPより抜粋
先進的農業の実践



古都華



収穫した野菜等が楽しめる農園レストラン

交流ゾーン

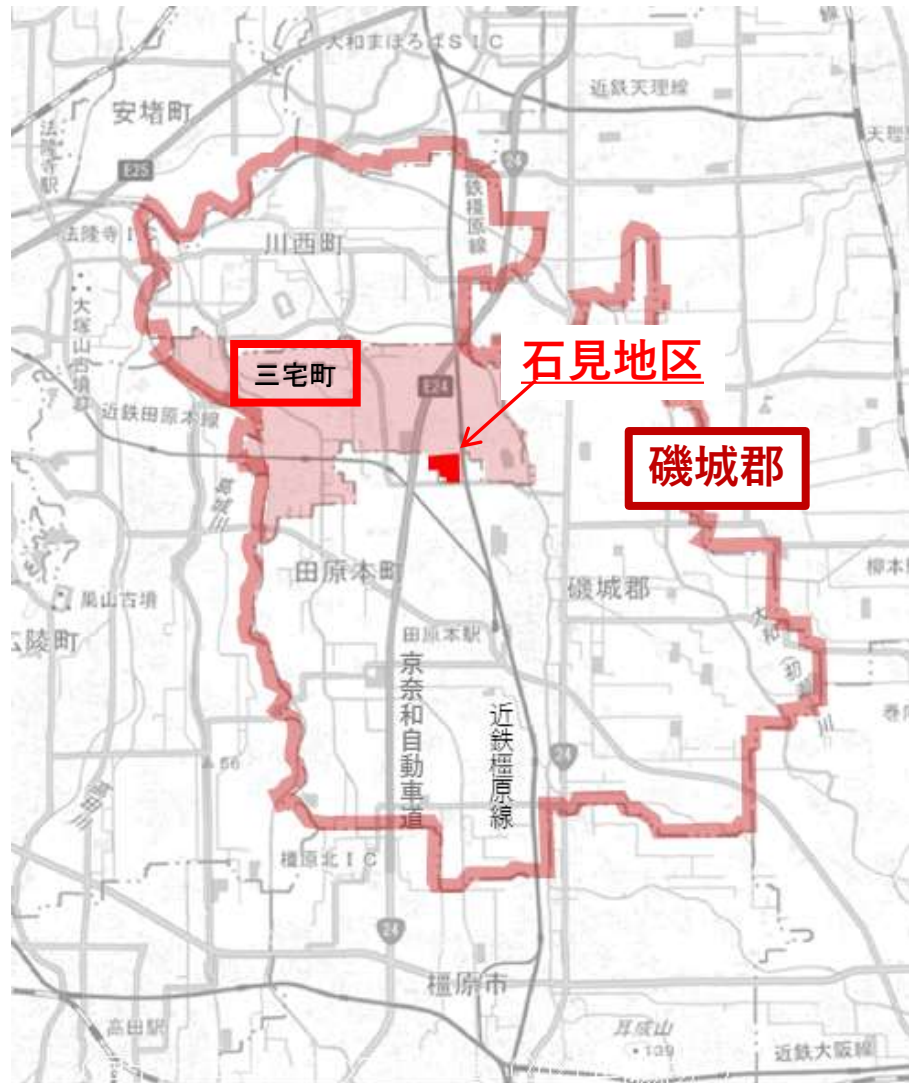
- 大和野菜などの県産野菜や、**農業ゾーン**の採れたて野菜等を使った**農園レストラン**
- オートキャンプやBBQが楽しめる**アウトドアエリア**
- イベントの開催、家族やグループで**くつろげる芝生広場**



イメージ画像
原池公園 matoiHPより抜粋
農業エリアとの連携したBBQ

三宅町 石見地区

磯城郡三宅町石見地区

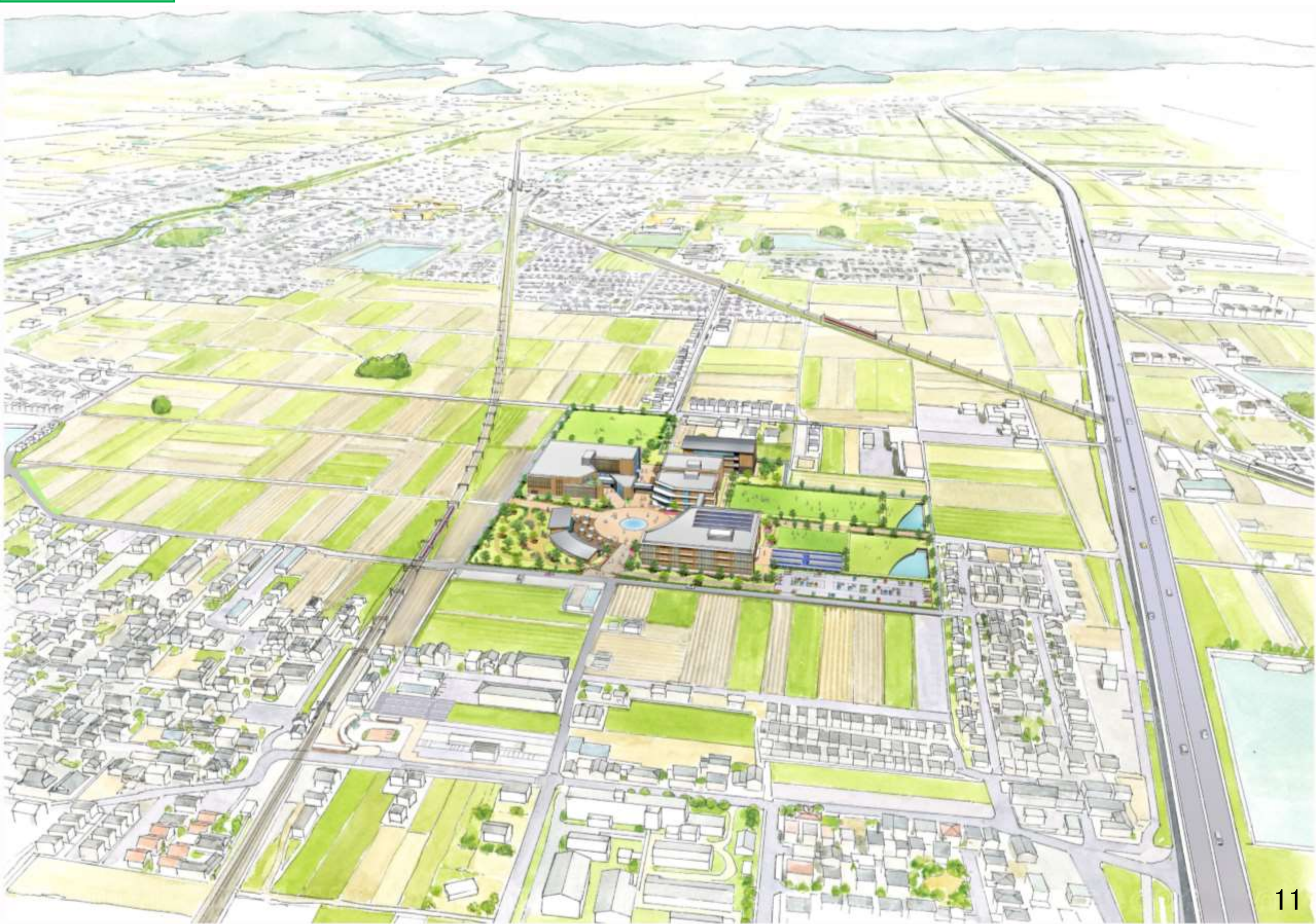


(地理院タイル)

プロジェクト用地（三宅町 石見地区：7.7 ha）



国土地理院撮影の空中写真（2021年撮影）



知的交流が広がる

県立工科大学（仮称）とスタートアップヴィレッジ



大学・企業等の研究者が
交流するキャンパス

- 地域産業の活性化につながる優秀な人材の育成と、人と社会の未来に資する研究を行う「県立工科大学（仮称）」を中心としたまちづくり
- 「なぜ？が芽生え、知るを楽しみ、学びを生かす」をテーマとした**大学キャンパス**
 - ・ 国内外の大学・企業等の研究者、学生、留学生、地域の子どもから大人まで、すべての人の“探究心”や“知的好奇心”に応えられる開かれた学び舎の創出
 - ・ 周辺環境との調和を図りながら、実社会の役に立つ**最先端の研究を実践できるラボ環境の整備**
 - ・ 地域の方も毎日通いたくなるような居心地のよい屋内外空間を配置



大学生・研究者・住民等様々な人の
交流を促すオープンカフェやレストラン



様々な人の集う交流広場



塀が無く、自由に立ち寄れる
シームレスな拠点

● 新たな県内産業の育成拠点 **スタートアップエリア**

- ・これから起業する人やスタートアップ企業、個人などが交流、共同利用できるコワーキングスペース、サテライトオフィス等の設置。
ピッチコンテスト等の交流イベントの開催にも利用。
- ・大学との共同研究や企業間の共同研究に取り組む企業、研究者が必要な機器等をそろえて、研究を進める技術交流・ミーティングスペース。
- ・就業相談・就労あっせん、働き方改革、人材育成・再教育、子育て家庭等のニーズに応じた支援等の相談機能を一本化した「ワンストップ就業相談・あっせんセンター（仮称）」の設置



起業家・実業家が交流する
コワーキングスペース



学生・研究者・起業家等の
議論の場となる交流スペース

● 起業家、研究者・学生、地元企業、地元住民等、 **様々な人が交流できるエリア**

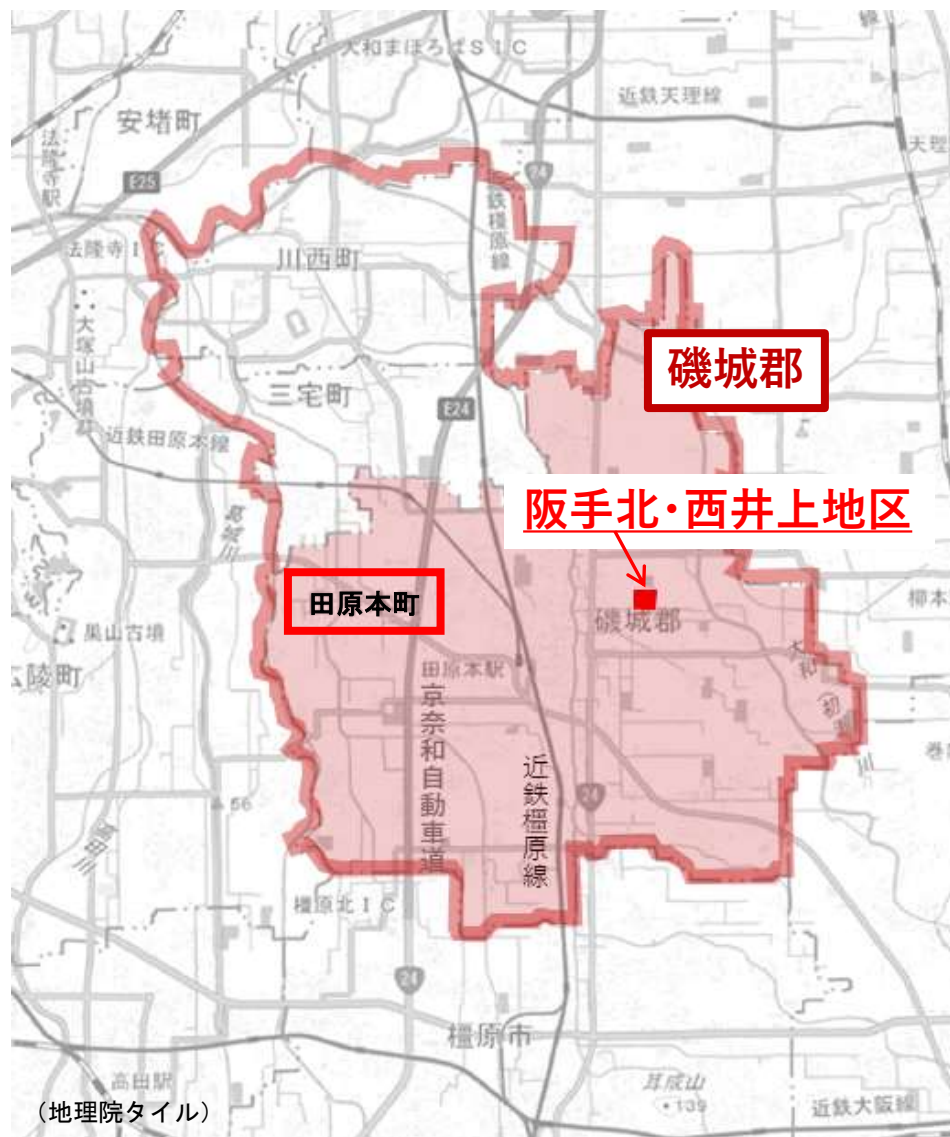
- ・イノベーション創出を後押しする、起業家や研究者・学生、地元企業等の交流を深めるカフェ・レストラン
- ・スタートアップエリアを活用する企業や起業家、大学関係者（研究員等）が利用できる、子育て支援施設（一時保育所等）の設置
- ・地域の子どもから学生、研究者等が集い、実験機器の一時利用や、科学イベント、ワークショップ、企画展示等が展開される、科学・工学・ものづくりの交流拠点「サイエンス・ステーション」



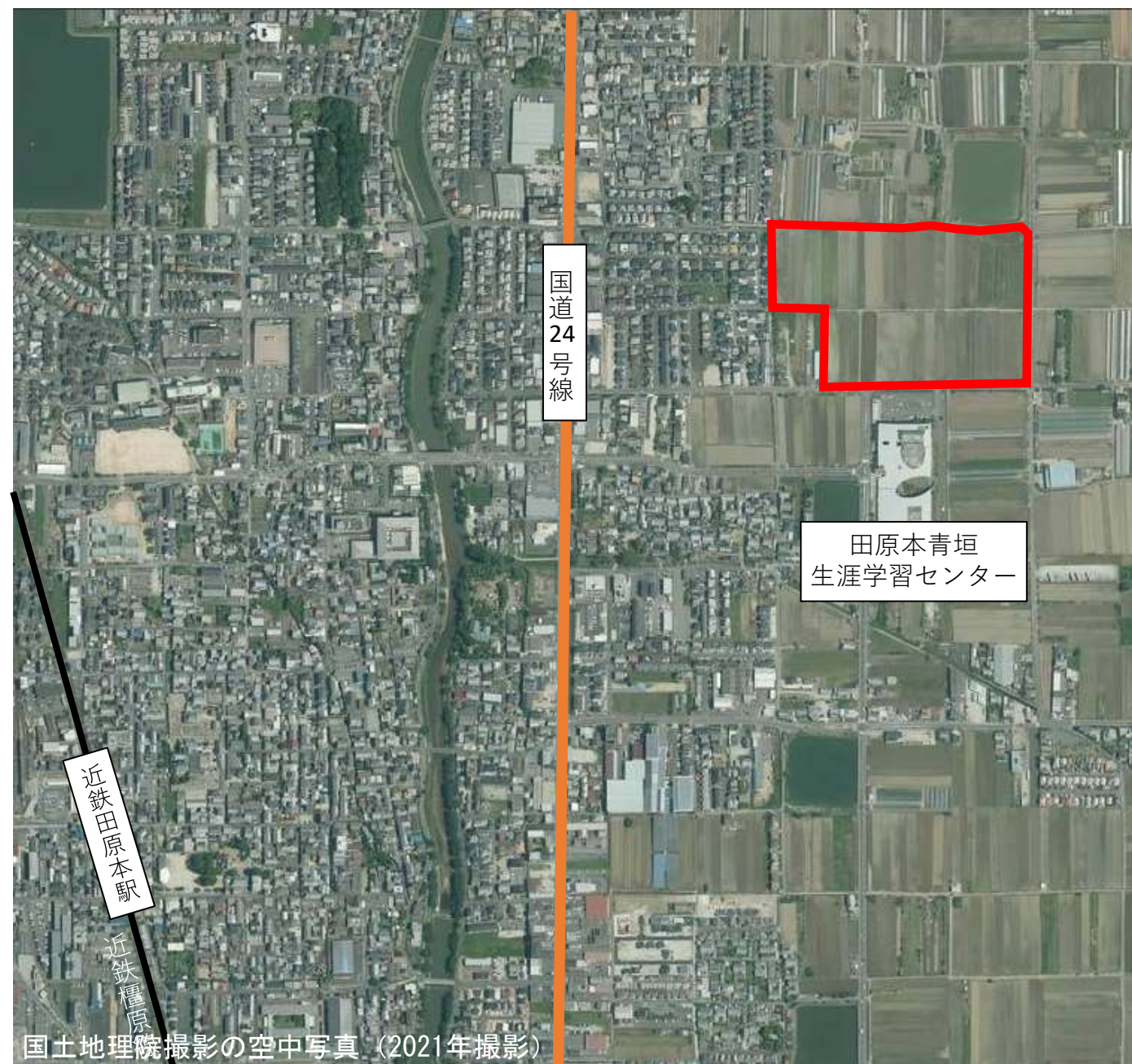
科学・工学・ものづくりの交流拠点「サイエンス・ステーション」（イメージ画像）

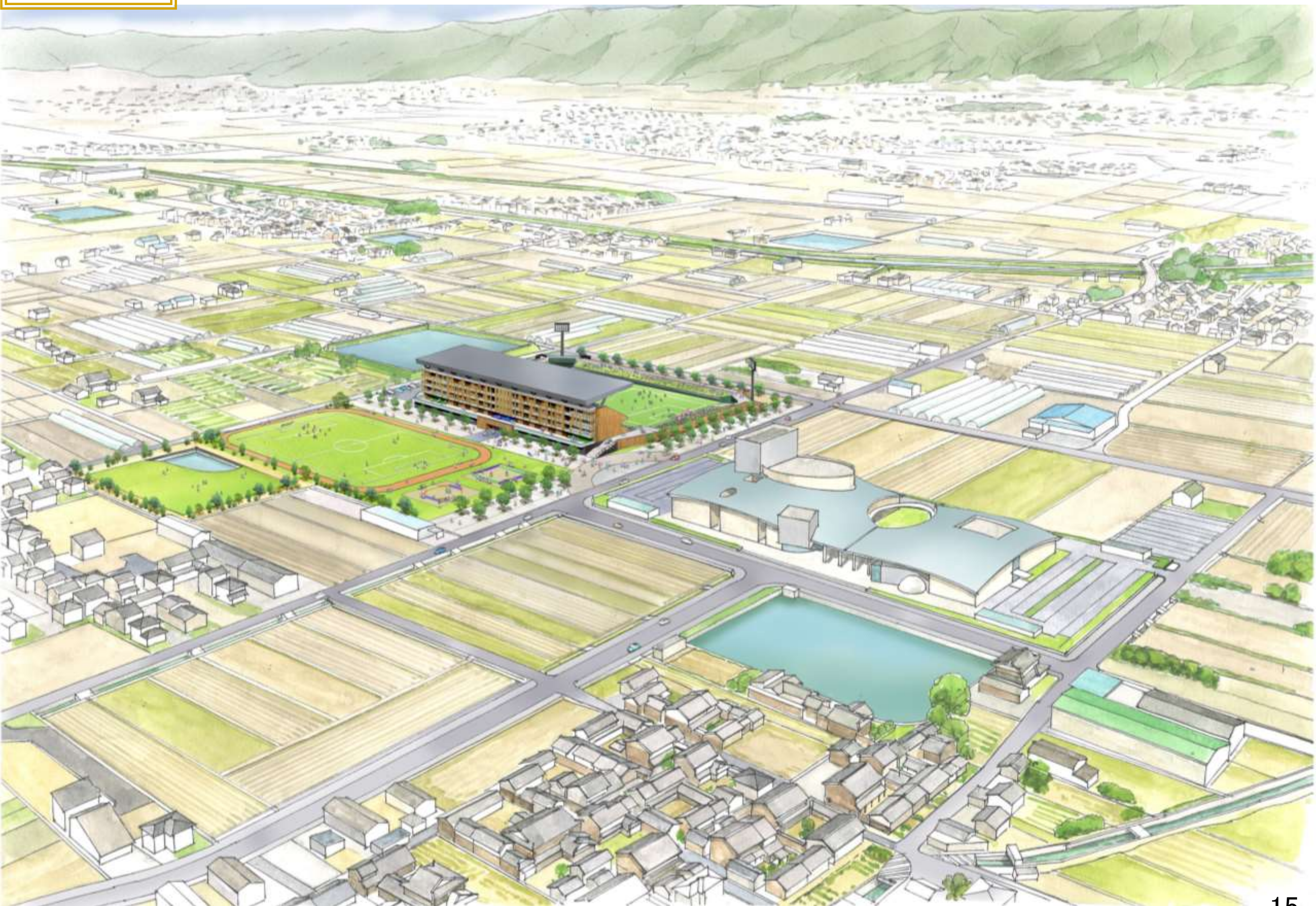
田原本町 阪手北・西井上地区

磯城郡田原本町阪手北・西井上地区



プロジェクト用地（田原本町 阪手北・西井上地区：5.8 ha）





スタジアムを核としたウェルネスタウン



大和青垣が見えるスタジアムのメインスタンド

- サッカー、ラグビー等の球技ができる、県内唯一の球技専用スタジアム
 - ・メインスタンドは、当初5,000席。県内プロサッカーチームの活躍状況を見ながら、JリーグのJ1、2基準に対応した座席（2万席程度）の増設を想定した配置
 - ・大学、社会人のラグビー・アメリカンフットボール等のトップチームの試合にも対応可
 - ・美しい大和青垣が望める西側メインスタンドを設置し、食事をしながら、試合観戦ができるレストランを併設
 - ・メインスタンドには、多目的グラウンドでの試合や練習風景を楽しめる屋外テラスを設置
- 地域住民が日常的に利用できるフィットネス、ジャグジー、ジョギングコース等がある地域住民の健康増進施設「ウェルネス・ステーション」の設置
- ミニサッカーやイベント等利用できる芝生広場の設置



食事をしながら
試合観戦ができるレストラン



イメージ画像

U-12 JUNIOR SOCCER WORLD CHALLENGE 2022 HPより

大規模なジュニアサッカー大会の開催



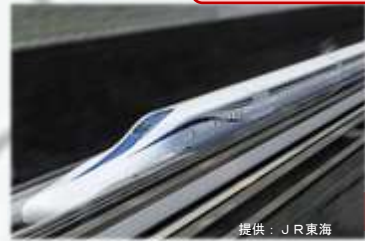
フィットネスやジャグジーのある「ウェルネス・ステーション」



イメージ画像
ヴィムスポーツアベニューHPより抜粋

Ⅲ 県勢発展の原動力となりうるインフラ整備の波が大和平野中央周辺に押し寄せている

大和平野中央部



中町「道の駅」の整備

大和西大寺駅高架化・
近鉄奈良線移設

リニア中央新幹線
「奈良市附近駅設置」



近鉄郡山駅周辺
のまちづくり

王寺駅周辺
のまちづくり

JR新駅周辺
のまちづくり

中央卸売市場
の再整備

まほろば健康パーク
の機能強化

畝傍山周辺における
スポーツ拠点施設整備

磯城郡

県立医科大学周辺
のまちづくり

大規模広域防災拠点の整備

関西国際空港接続線構想



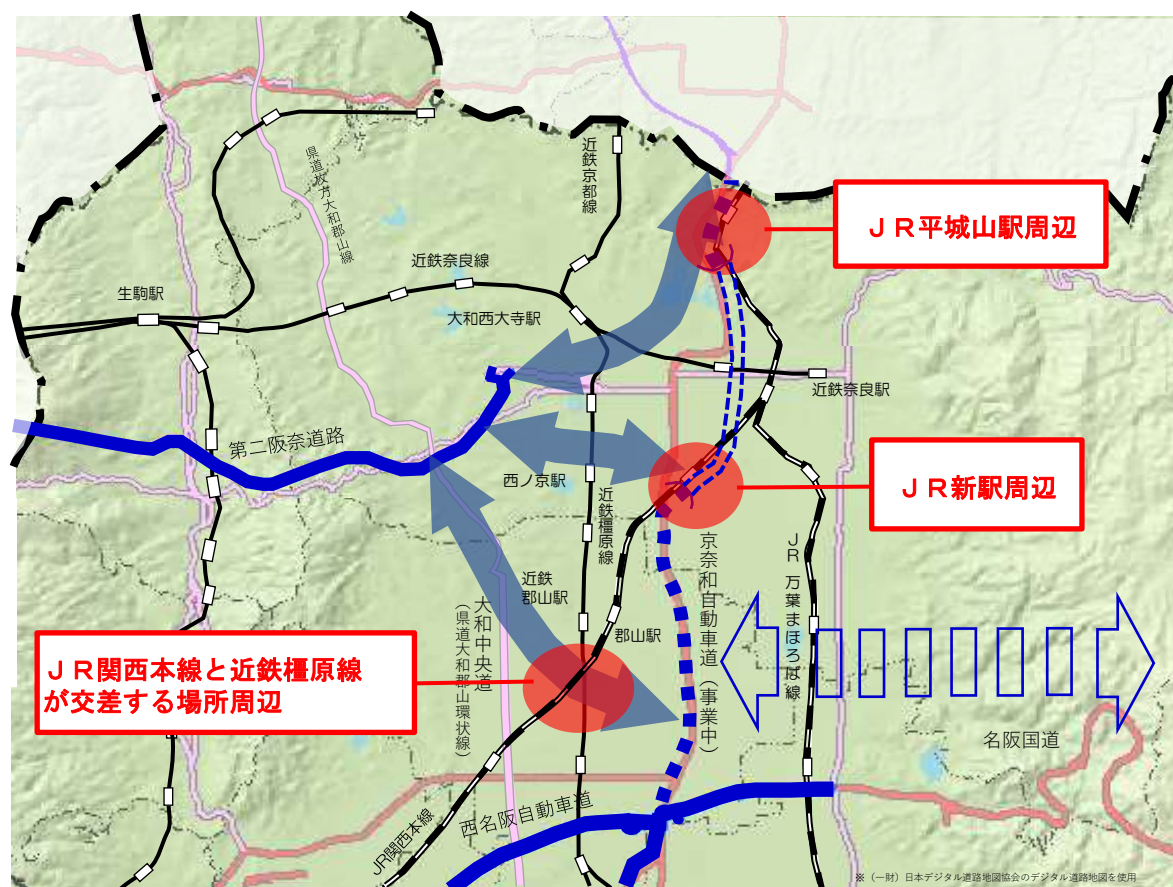
(参考イメージ) ほうほく線 特急「はくたか」



(1) リニア中央新幹線「奈良市附近駅」位置の確定

政府の「骨太の方針」（令和4年6月7日閣議決定）に環境影響評価手続きが2023年から開始することが明記されるなど、**駅位置・ルート**の決定につながる方針が示されました。

- 在来線や高速道路との結節性を考慮すると、**事実上、下記の3つが「奈良市附近駅」の重点候補**として考えられます。



駅位置・ルート決定にあたっての重要な要素

工事に直接関わる
事項

- ①用地取得の確実性
- ②発生土活用先の確保
- ③文化財・環境等の要配慮事項

地域が大きな関心を
有する事項

- ④交通結節性の確保
- ⑤駅周辺のまちづくり
- ⑥地域全体の将来的な発展可能性

○ リニア駅への直結アクセスと県内高速道路網のボトルネックの解消



「奈良市附近駅」の位置、県内ルート決定に向けて、ＪＲ東海をはじめ関係者とも連携しながら、全力で取り組みます。

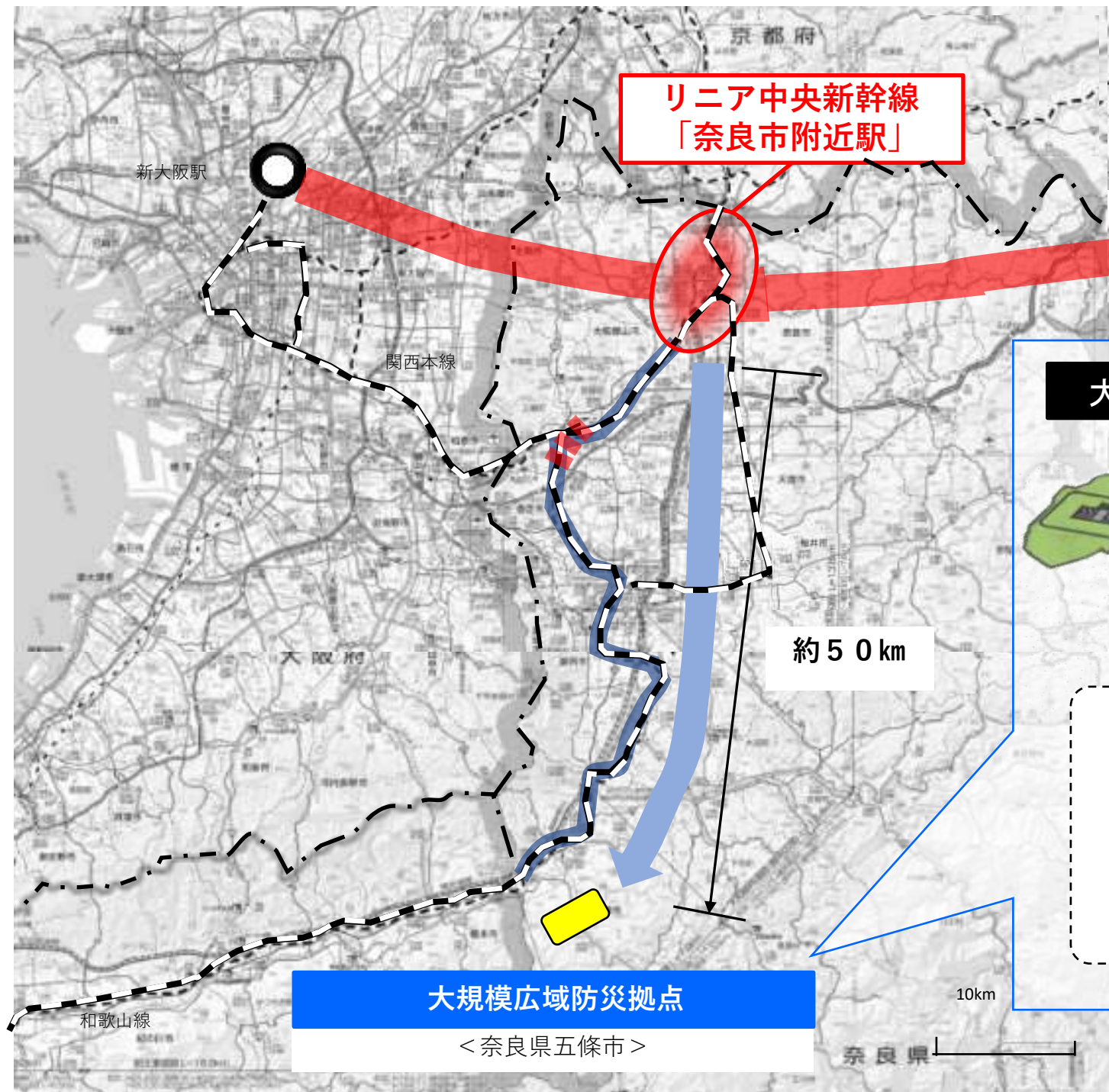


岸田総理と荒井知事・
一見三重県知事との懇談
(令和４年６月１７日)

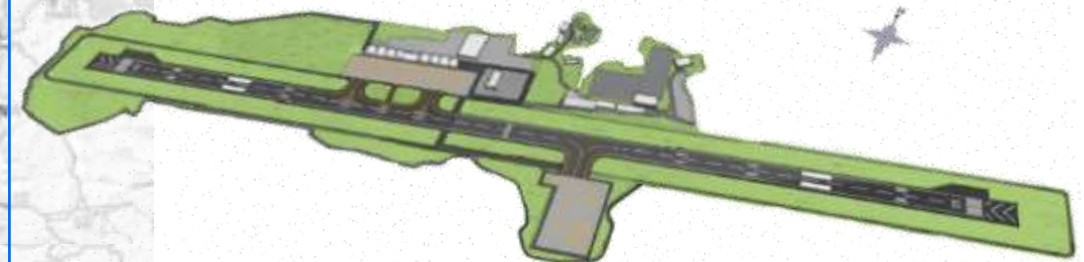
齊藤国土交通大臣へ名古屋以西区間の
整備促進を要望（令和４年１０月１１日）



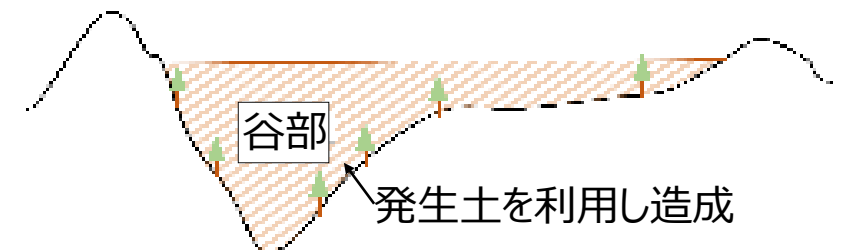
2, 0 0 0 m級滑走路を有する大規模広域防災拠点の整備に、
リニア中央新幹線の建設に伴う発生土を活用します。



大規模広域防災拠点の整備に発生土を活用



《 造成イメージ 》



(2) 大規模広域防災拠点の整備

紀伊半島エリアを広くカバーする**大規模広域防災拠点の整備**を、紀伊半島の中心に位置し、交通アクセス等立地の良い五條市で進めています。

- 防災拠点としての効果を早期に発現するため、段階的に整備します。
- 「現況、Ⅰ期、Ⅱ期途中、Ⅱ期、Ⅲ期」の5段階に分けて運用します。各段階に応じ災害時と平常時の利活用を図ることとし、現況から防災機能を発揮するようにします。

【段階的な整備と運用イメージ】

【 現 況 】



【 Ⅰ 期 】



【 Ⅱ 期 途 中 】



【 Ⅱ 期 】



【 Ⅲ 期 】



これまでの奈良県の取組

1. 「奈良県大規模広域防災拠点整備基本計画」策定
(令和3年6月)
導入すべき機能、施設規模などを取りまとめた、整備基本計画を策定。
2. 紀伊半島3県の協力
奈良県・和歌山県・三重県の三県による国への合同要望。
3. 用地取得の進展
Ⅰ期・Ⅱ期整備に必要なゴルフ場の用地を取得。
4. 関係機関連絡会議を開催し各段階の利活用を検討
(令和4年7月～)
消防・警察・DMAT・海上保安庁・国土交通省・三重県・和歌山県等
5. 事業開始式
(令和4年10月)



(3) 京奈和自動車道 — 道路整備 —

平成18年4月の郡山南IC～橿原北IC（7.8km）開通から、順次整備が進み、直近では、平成29年8月に御所南IC～五條北IC（7.2km）が開通しました。



京奈和自動車道 郡山南IC～三宅IC間



京奈和自動車道 五條北IC

京奈和自動車道（仮称）橿原JCT大阪方面接続ランプは令和8年春に開通予定です。



京奈和自動車道大和御所道路（橿原市新堂町）
橿原北IC～橿原高田IC間の高架橋の上下部工事の状況

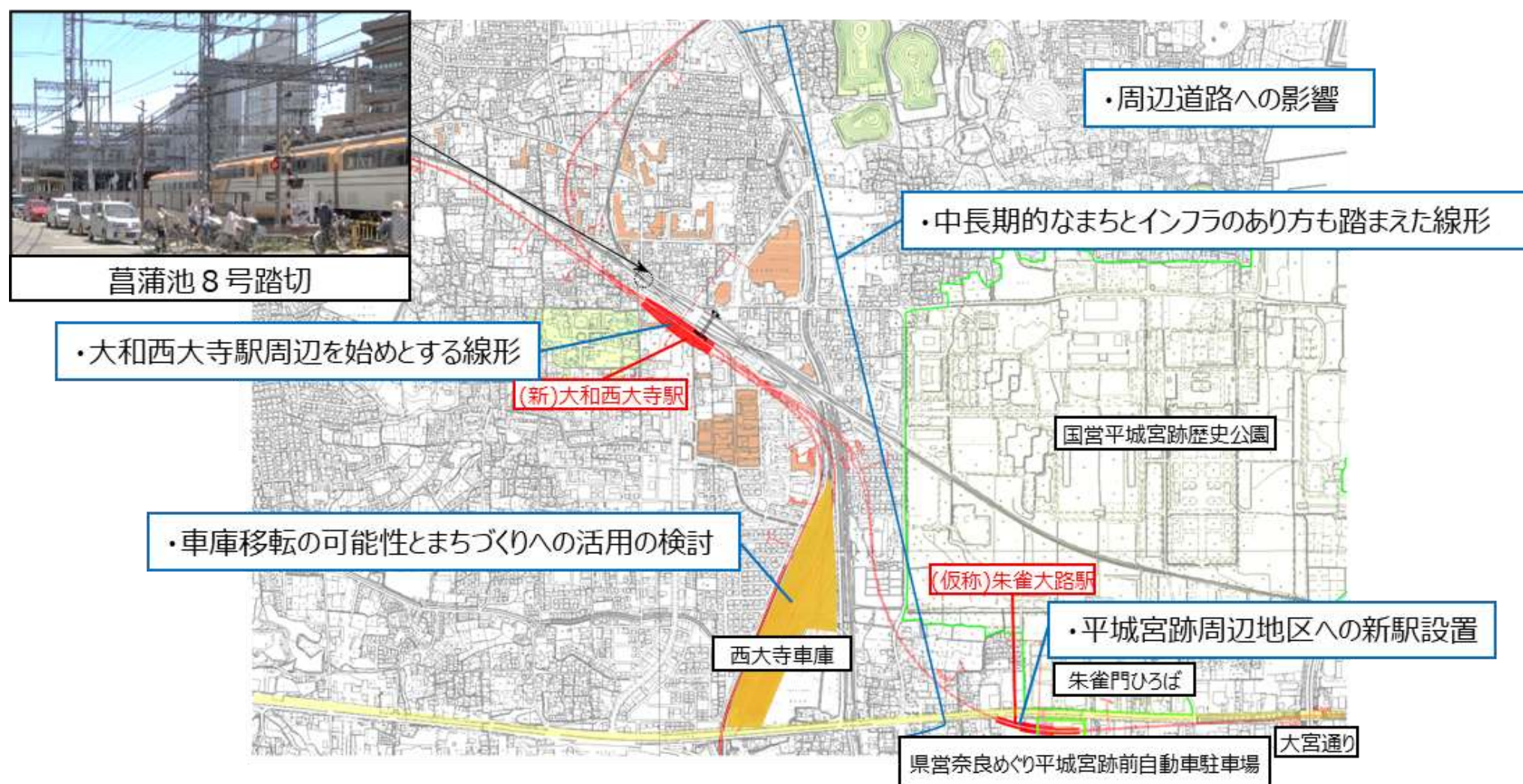
(4) 大和平野中央周辺近鉄主要駅の整備

A. 大和西大寺駅の高架化と近鉄奈良線の移設

奈良県・奈良市・近鉄に加え、国にも参加いただく検討会において、以下の事項を始めとする具体化に向けた協議を実施中です。

- 大和西大寺駅周辺を始めとする線形
(中長期的なまちとインフラのあり方も踏まえた線形)
- 平城宮跡周辺地区への新駅設置
- 車庫移転の可能性とまちづくりへの活用の検討
- 周辺道路への影響 等

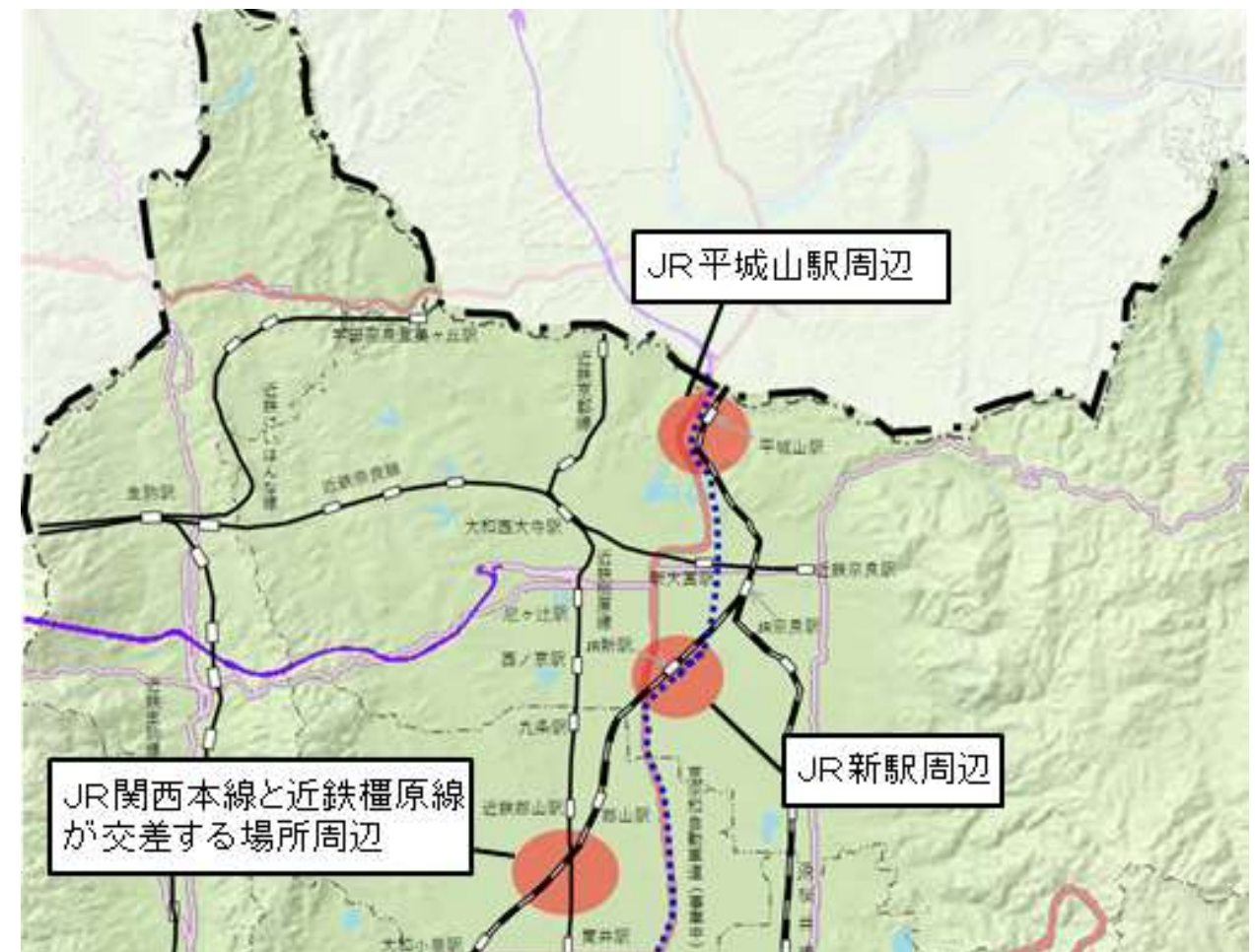
大和西大寺駅周辺地区の線形の一例



※新駅は別途協議。線形は確定していない。

B. リニア中央新幹線アクセス駅

(近鉄が積極的取組を運賃値上げ公聴会で明示)



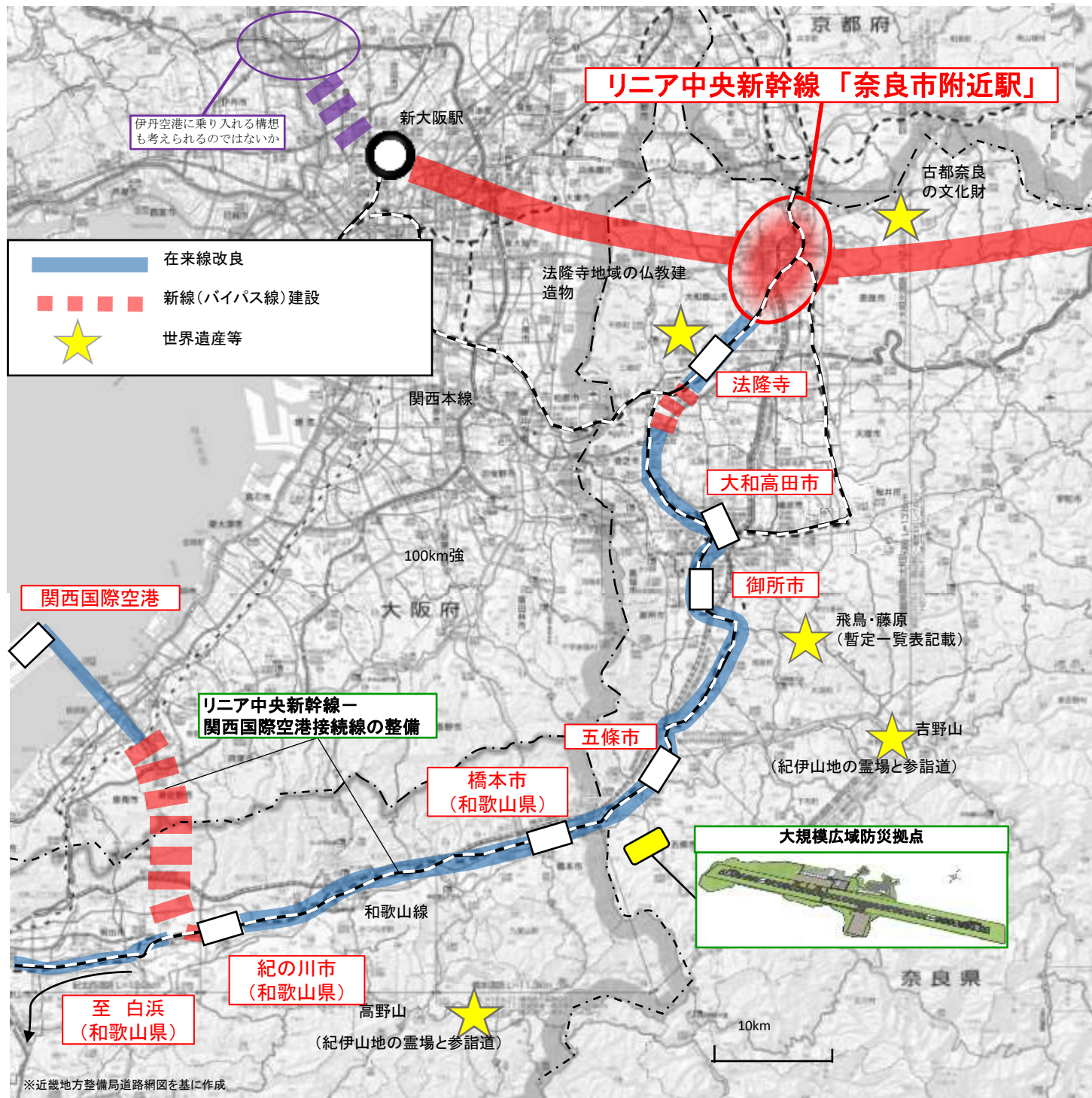
C. 医大新駅

(近鉄は八木西口駅併設を認めて新駅設置を協議)



(5) リニアの整備効果を最大限活用 (鉄道との結節性・関西国際空港接続線等)

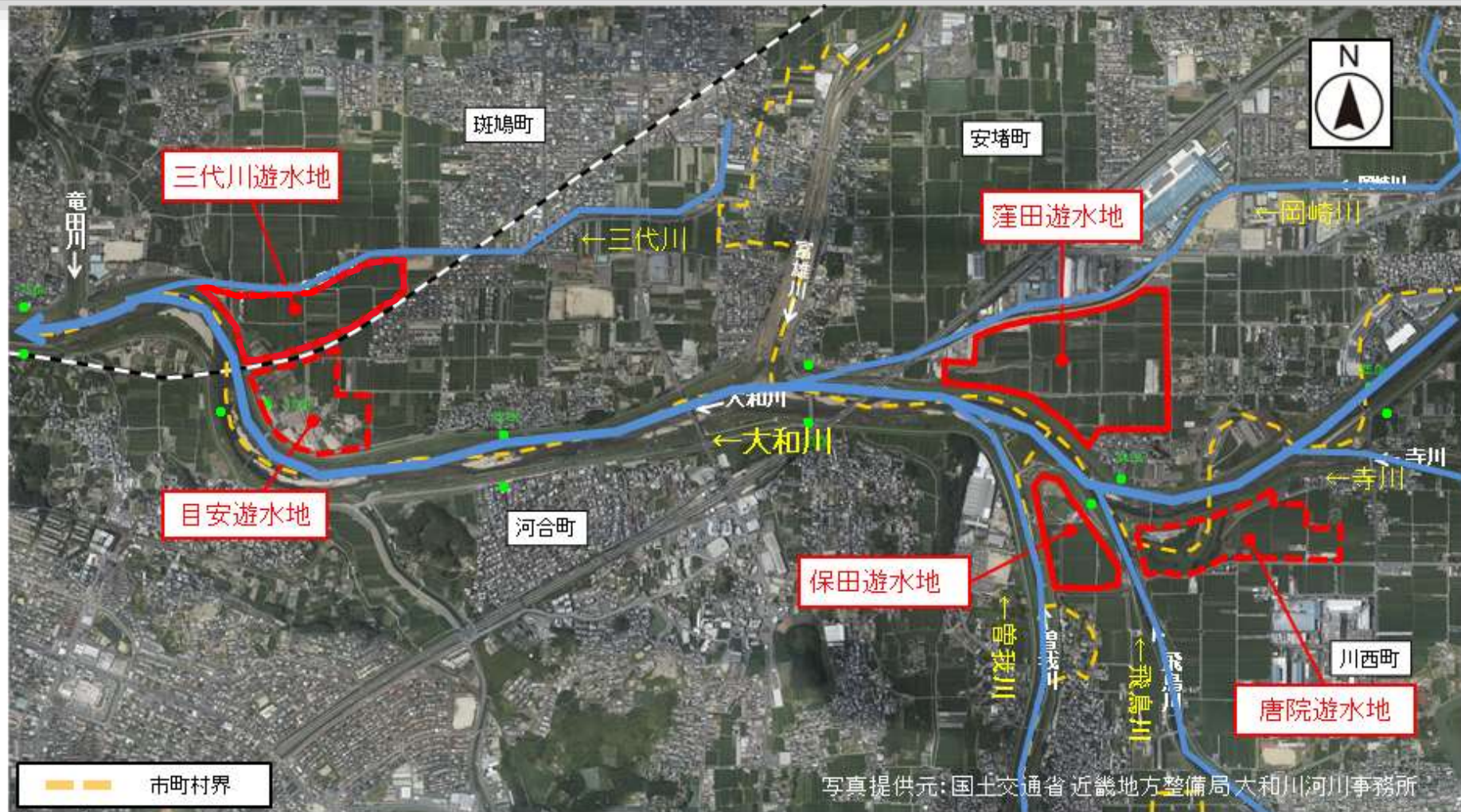
在来線との組み合わせ、関西国際空港との接続ルート新設などで、
観光をはじめとした経済の活性化を図ります。



(参考イメージ) 時速160kmの特急



(6) 特定都市河川指定により大和川流域における流域治水が一層進みます



: 事業中箇所 (3箇所)

: 地元調整中箇所 (2箇所)

【外水対策（大和川本川）】

○国は、洪水を一時的に貯留する100万 m^3 の直轄遊水地の整備（窪田地区、保田地区は工事着手）を加速化するとともに、大和川の改修（藤井地区）を推進

【内水対策（大和川支川）】

○特定都市河川の指定による国からの財政支援拡充により、市町と県が連携した「奈良県平成緊急内水対策事業」を一層推進

- ・市町は、内水による床上・床下浸水被害解消に取り組む
- ・県は、市町が内水対策に要する費用の実質1/2を負担することで財政支援

IV 県勢発展の起爆剤となる「デジタル田園都市」を大和平野中央に建設する

A. 知的な大和平野中央を創造する

1. 県立工科大学（仮称）の設置

2. 就学前教育 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～

3. 地域のリカレント教育

4. スタートアップヴィレッジの構築

5. 大和平野中央地域雇用戦略の実行

B. 健康長寿の大和平野中央を実現する

6. 新しいスポーツ施設の整備とウェルネスタウンの建設

7. 医療、地域包括ケア、健康増進、社会福祉の一体的推進

C. 大和平野中央にデジタル田園都市を建設する

8. 地域内移動の円滑化

9. 安全・安心まちづくり

10. 農業の省力化、効率化、高度化

11. エネルギー脱炭素への挑戦（大和平野中央シュタットベルケ構想）

12. 大和平野中央デジタル化の推進

13. デジタル化による行政運営効率化

D. 地元や民間の人たちと力を合わせて未来に輝く大和平野中央を創生する

14. 土地の適正な管理、合理的な利用、より効果的な利用により、田園都市を建設

15. 周辺県施設の整備運営との連携

16. 官民連携した推進組織の構築（P P P Pの実行）

A. 知的な大和平野中央を創造する

1. 県立工科大学（仮称）の設置

2. 就学前教育 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～

3. 地域のリカレント教育

4. スタートアップヴィレッジの構築

5. 大和平野中央地域雇用戦略の実行